

(様式3)

自己評価結果票

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|--|--|
| . 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | <p>地域密着型サービスとしての理念を考え、2階入口等に掲示しています。</p> | <p>考えられた理念は、誰の目にも入る様に、2階入口等の、目に付くところに掲示しています。</p> |
| 2 | <p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | <p>管理者と職員共に理念の実践に向けて、日々考え実際に行っています</p> | <p>これからも理念の実践に向けて、管理者、職員共に話し合い取り組んでいきたい。</p> |
| 3 | <p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | <p>家族会や地域運営推進会議で、家族や地域の方に理念を配布、説明を行っている。</p> | <p>今後も継続して理念が分かってもらえる様、理念の説明等を行っていく。</p> |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | <p>近隣での日用品の買い物や散歩の折りに接する機会があれば、立ち話でお花を頂いたり、秋には柿を頂く事もあった。</p> | <p>今後も積極的に外に出る様にし、近隣の和菓子購入、クリーニング屋へ行ったりし、接触を計りたい。薬局でのホームの買い物の機会を増す。</p> |
| 5 | <p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | <p>花見、夏祭り、地域主催の文化祭に出展参加。餅つき大会、又小学校主催の音楽会の鑑賞等に積極的に参加。</p> | <p>文化祭の出展作品を早くから取り組み、もっと多く出せる様にしたい。ホールでの催し物等にも見学n参加して頂きたい。 7/26夏祭りに向けて行動中です。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|---|---|
| 6 | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | | <p>未だ話し合いの段階であるが、徐々に具体化し取り組んでいきたいと考えている。 自治会で4階ホールの解放を提案しています。</p> |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | | <p>門からホームへの通路には、入居者様と一緒に植えた季節の花を絶やす事なくしている。又水やりも外の空気に触れる楽しみの一つとなっている。</p> |
| 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | | <p>夏祭りや文化祭、餅つき大会等には出来るだけ参加している。又入居者様の作品も出展している。今後も心のよりどころとして取り組んでいく。</p> |
| 9 | <p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>取り組んでいません。 3/18神戸市から調査が入りましたが、フローアを案内している時、入居者様に対しにこりともせずに対応を観ていますと、連携できるのかなと不安になります。(職員の本音)</p> | |
| 10 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>管理者は研修を受講していますが、職員の研修はまだ施行していません。3/16家族会の時に入居者様1名利用されていまして、この様な制度がある事を話しています。入居者様の家族に勧めた事があります。</p> | <p>これからも必要と思われた時には情報提供をしていきたいと思っています。 職員の研修をします。</p> |
| 11 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>職員全員が、虐待防止について講習を受けている。4/25ミーティングにて。神戸市からの《身体拘束に関する説明書。経過観察記録》も説明。</p> | <p>進退に関する虐待だけではなく、暴言等に対しても配慮をし、穏やかに過ごして頂ける様取り組む。</p> |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約前にリスク等をホームから利用者、家族等に説明し、不安、疑問点を尋ねそれに対するホームの対応を説明。納得してもらっている。</p> | <p>不安、疑問点については、家族会でホーム側、家族側の意見交換を行い生活向上を目指している。</p> |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>運営推進会議への利用者の参加や、日々の生活の中で、管理者や職員から利用者に意見や不満について尋ね、それらを運営に反映させている。意見箱設置</p> | <p>まずは一番身近にいる介護者に利用者が意見、不満、苦情等を言える様な環境を作る。まずは思いやりを持って利用者 と接する。</p> |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>定期的に家族等へ利用者の生活の様子を手紙で知らせている。家族会、運営推進会議での報告。個人的なことは、面会、手紙、電話で連絡している。</p> | <p>これからも利用者の状況等について家族等に説明を行い、ホームとの信頼、協力関係を築いていきたい。</p> |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族会、運営推進会議の開催。意見箱の設置。</p> | <p>今後も家族等が安心して職員、外部者に意見、不満、苦情が言える環境を作っていきたい。</p> |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>1か月に1回のミーティングには必ず全員が発言できる機会を与えられている。毎日の勤務で、意見、提案を出せるよう努力している。</p> | <p>ミーティングでの発言の時間多くできる様に努力。新しく出た意見や提案を記録にして、いつでも目にふれる様にする。</p> |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>個別の要望に沿って必要な支援を家族とよく相談し、最善の対応できるよう話し合う。</p> | <p>ミーティング等で勤務調整の変更等考え、話し合いながら努力している。緊急な場合はそのつど対応している。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|--------------------|--|
| <p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>馴染みの関係づくりがとても大切なので、移動時は十分考慮し、ダメージを最小限にするために、機会があるごとに声かけし、気持ちの安定をはかる。</p> | | <p>利用者も2階、3階へと遊びや、手伝いに行く機会を増やし、交流をもっている。ボランティアにて離職者の参加がある。</p> |
| <p>5.人材の育成と支援</p> | | | |
| <p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>講習会や研修の案内があれば管理者や職員に連絡し参加を勧めている。月1回程度ホーム内研修を行っている。</p> | | <p>今後も研修等の案内を連絡し、参加を勧める。</p> |
| <p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>過去に加古川北区のグループホームを見学したが、地域の中の同業者との交流は現在はない。</p> | | <p>同業者と交流する機会を増やし、サービスの質の向上につなげていく。</p> |
| <p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>有休をとりやすくしている。就業時間で帰れる様な業務の見直しを行っている。</p> | | <p>今後も管理者、職員のストレスの軽減に努める。</p> |
| <p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>毎月のミーティングでの勉強会や月1回程度、ホーム内での外部研修の機会をもうけている。</p> | | <p>これからも管理者、職員が向上心を持って働ける様に努めていく。</p> |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|--|
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>入所前に本人の希望、心配事、不安等を聞く機会（面接）を作り、できるだけ心配や不安なく、入所して頂く様に努力をしている。</p> | <p>必ず本人自身の話を聴く機会（面接）をつくり、又受け止める努力をしている。</p> |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>家族に対しても、本人同様面接の機会をつくり、不安な事、求めている事等をよく聴き、又受け止める努力をしている。</p> | <p>本人同様、家族への配慮を忘れず、努めていきたい。</p> |
| 25 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>本人、家族の実情、要望等をもとに、必要度を見極め、できる限りの対応に努めている。また、必要に応じては他のサービス利用の対応も務めている。</p> | <p>他のサービス利用も含めた必要とされる支援を見極め、行動していきたい。</p> |
| 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>地域密着型サービスの特徴を生かしながら、いきなりサービスを開始するのではなく徐々に馴染んで頂ける様に、段階を踏んで家族等と相談しながら工夫している。</p> | <p>これからも地域密着型サービスの特徴を生かしながら、活動していきたい。</p> |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | <p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>一緒に食事を作る。作り方や味付けを聞きながら、昔話等をしている。洗濯物も同様に干す事、取り込み、たたむ等会話を交え一緒にする。散歩やドライブをする。</p> | <p>何事もしてあげるのではなく、一緒にさせて頂くつもりで、声かけ行動を起こす。</p> |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---------------------------------------|------------------------|---|
| 28 利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている | 家族会や催し物の祭りはどんどん参加して頂く。 | | 季節毎に花を愛でる等の外出をする。地域の行事に積極的に参加する。 |
| 29 利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 連絡は密に取り、利用者の状態を知って頂く。来訪して頂ける様に依頼する。 | | ご本人の状況を家族に訪問時や電話等で連絡している。今後も利用者、家族が良い関係を築いていける様に支援していきたい。 |
| 30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | これまで買い物や、外出されていた場所への外出の機会を持っている。 | | これからも利用者の馴染みの人や場所と関係が続く様支援していく。 |
| 31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同士がお互い支えあって生活していける様、職員が間に入り支援している。 | | 利用者同士がお互い支えあっている関係を今後も支援していく。 |
| 32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 利用者退所後も家族の話の聞いたりと関わりを持っている。 | | 今後も家族、利用者本人退所後も関係を続けできる支援を行っていく。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|--|---|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>その方の思いを尊重し最初から無理と決めつけない。したい事又外に出たい事等については、時前のスタッフ同士の話し合いによって実現可能な方向へ向ける。実施できない場合はご家族の協力を得る。</p> | <p>今後も穏やかに生活していただくために、思いや希望をより現実可能にする為に努力していく。</p> |
| 34 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>プライバシーを尊重しつつ、その人となりを理解する。日常会話での生活ぶりを傾聴し生き方、生活の歴史を把握していく。</p> | <p>御本人や家族様との会話を重ねていく事で今日に至るまでの生活ぶりをうかがう事ができ、今後も続けていく。</p> |
| 35 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>スタッフ全員が入居者を総合的に見つめる事で、一人では見落としがちな日常の行動を発見できる。</p> | <p>一人一人のケアプランに沿った日常生活を把握し、かくれた力を見出していける様今後もサポートする。</p> |
| 2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>その人らしく安心で、家族的な日常生活を送って頂くように、話し合った結果をもとに計画を立てている。(利用者及び家族の生活に対する意向) 計画書1(総合的な援助の方針)</p> | <p>生活全般の解決すべきニーズ 計画書2(援助目標 援助内容) スタッフによる計画、作成、取組努力</p> |
| 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>援助目標を長期(6か月) 短期(3か月)におき計画、作成。変化に応じて細かいケアが大事で、話し合い臨機応変に見直しが必要。</p> | <p>本人や家族からの新たな要望や変化がなくても、毎月新鮮な目で見直す取り組みをしている。きめ細かな観察、記録が必要。生活記録、個人記録に詳細に記入。</p> |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|--|
| 38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 記録は施行したことだけでなく、事実ケアの気づきを具体的に記す。それらの情報を共有しながら、ケアに活かしていく。できなかった事(入浴など)も理由も記録する。毎月アセスメント表作成、記入。 | | 日々の記録を根拠にしながら、個人用記録に日々変化している事を記録し、介護計画の見直しに活かしている。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者、家族の状況、その時々々の要望に対してホームでできること、できないことを説明し、できることを行っている。できないことに対しては別の対応を話し合い支援して行っている。 | | その時々々の利用者、家族の状況や要望に対して必要な支援を行い、安心して生活が送れる様にしていきたい。 |
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 家族会は年に2回。ボランティアも1年中スケジュールが入っている状況。消防訓練なども定期的に行っている。 | | 家族と介護者との連携。ボランティア等と協力しながら、今後も利用者を支援していきたい。 |
| 41 他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 月2回のボランティアサービス。毎月1回のカットサービスを支援しています。 | | 状況に応じて輸送サービス、ヘルパーを利用した事があります。今は必要性はありませんが、必要な時は利用する為の支援はできます。 |
| 42 地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 2か月に1回運営推進会議を開催し市からの要望に基づき色々と意見の交換等しています。求められている事が多く大変です。 | | 利用者や家族様がどこまで地域包括を理解されているか分かりませんが、認知症の方が住みよい町になる為には必要な所だとは分かって頂けていると思います。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|--|
| 43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | できるだけなじみの医師による医療が受けられる様、配慮すると共に、1F医院の医師がかかりつけ医となる場合は利用者家族の同意を得る。 | | 利用者が適切な医療を受けられる様に、利用者、家族を支援していく。 |
| 44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 1階医院の医師による診断、治療や時には認知症専門医への受診、相談を随時家族様と相談し、支援している。 | | これからも利用者が認知症に関する適切な医療が受けられる様に支援を続けていく。 |
| 45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 日頃から1階医院の看護職員への相談。週1回、グループホームへ看護師が出勤し利用者の健康管理を行っている。1月に4回非常勤看護師が来初しています。又医院との看護師とも相談 | | 今後も看護師職と連携を続け、利用者が安心して生活していける様支援していく。 |
| 46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院時は利用者の状況、ケア状況を病院関係者に伝え、利用者が病院でもホームと同じケアが受けられる様努めている。退院前には利用者の状況をきき、職員でどういったケアを行うか話し合っている。 | | 利用者が病院でもできるだけホームと同じケアが受けられる様に。又早期の退院ができる様に、医療関係者との連携に今後も努める。 |
| 47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や緊急時の看取りについて、利用者、家族に文章で説明、同意を得ている。DRには何時でも話し合いが出来る態勢あり。 | | これからも重度化や終末期に向けたケアの方針の共有を行う。それにより利用者、家族が安心して生活していける様支援していく。 |
| 48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | チーム内で「出来ること、できないこと」を話し合い、家族に説明、家族、利用者の意向を確認。チームで支援している。3月に1名ホームで看取り行う。DRは医院時間以外にも対応している。 | | 今後も重度や終末期の利用者がより良い生活ができる様、チームで話し合い支援に取り組んでいく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|------------------------|--|
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | | 住み替えのダメージをできるだけ防ぐためにも、ケアの関係者間での話し合いや、情報交換にこれからも努めていく。 |
| ・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | | 個人として尊重し居室での時間また入居者のいる空間での言葉かけ会話に注意。否定する事なく対処。記録等は事務所内に保管。 守秘義務がある事を念頭に置きつつ今、一度職員全員で取り組んでいく必要がある。 |
| 51 | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | | 毎日の生活の中での会話の中から、利用所の希望や思いを聞いたり、言葉にならない方は表情等を見て、希望、好みの把握に努めている。 利用者が思いや希望を自己決定し生活でできる様にこれからも言葉や表情等より、希望の把握に努め、利用者の生活を支援していく。 |
| 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | | 他の利用者とのかねあいもあり、利用者のしたい事全てを、その日にして貰うことはできない事もあるが、利用者一人一人のペースに合わせた支援を行っている。 これからも可能な限り利用者のしたい事が、できる様努め、一人一人のペースを大切に支援を行っていく。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | | おしゃれは本人の心地よさ、明るさにつながり、個々に支援。一方的な支援ではなく、本人の好みや、意向、持っている力に応じた支援が必要。目を向けてたえず声かけしている。 1か月に1回理髪店の方が来られ、2階3階と交互で希望な方に施行している。入浴後、乳液党などの声かけで肌の保湿保持。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|--|
| 54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 下準備など簡単なものは、利用者と一緒にし、絶えず声かけする。盛り付け、お茶入れも一緒にする。食器拭き等できる範囲でしている。 | | 個々に身体の痛みもあり、様子を見ながら観察も十分に行う。好きなメニュー、料理の本も一緒に見て楽しむ。 |
| 55 利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 一人ひとりの好みや意向を大切にし飲み物も、体調に合わせて楽しめる様にしている。 | | おやつの場合、自分で買い物されている利用者の方で、詰所に預かって少しずつ出し周囲の利用者への配慮も考えている。 |
| 56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | トイレでの排泄や、オムツをしないですむ暮らしは、生きる意欲や自身の回復。職や睡眠等の向上につながる大切な支援。一緒にトイレに入り、最初から最後まで良く観察して、プライバシーを守り支援する。 | | プライバシーを守りながら、個々に合わせたパターンを見つける努力をしている。洗浄に力を入れていく。絶えず声かけしコールを押してもらう。十分な心遣いでトイレ誘導。トイレチェック表使用。一人ひとりのパターン、習慣を活かす。 |
| 57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 出来るだけ個々に合わせた時間に入浴してもらうのが理想だが、困難な場合があるが、それが当たり前になっていないか、考え支援する。入浴を楽しむよう支援。無理強いするのではなく、くつろいだ気分でできる様にする。 | | 午前中だけではなく、午後からも入浴できる様している。入浴のいやな人には |
| 58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 一日の流れの中で一人ひとりが必要な休息、睡眠がとれるよう、自然な理済みが生まれる様支援。数日間の活動や、又出来事を検討しながら支援。不安にて不眠の場合、特に生活習慣等を総合的に支援。 | | 昼間の生活において、身体の動き、心の安定、めりはりある生活等観察を十分していきたい。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人一人の入居者の生活歴の中でできる事、又潜在している力を継続していける様に支援しています。 | | 洗濯のため、干し、花を活ける。調理の手伝い、食器拭き、洗い等。その時の状態に応じてできる事をして頂いています。又特定の人だけでなく出来る人には随時の声かけをしています。 |


| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|------------------------|--|
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自分で財布を持ち、買い物をする事によりストレスを解消できたり、外に出て買う事の楽しみを持つ事にもなり、近くの店へ日用品又身の回りの品を買いに行く事を、支援しています。 | | 欲しいものがあれば、買いに行く予定を立てて、散歩も兼ねて行ける程度の距離を楽しみながら行っている。 |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気の良い日、体調の良い日にはなるべく外に出て、気分転換を図っている。 | | 体力に合わせた外出をする。庭に出て花を見る事だけでも楽しめる時や、又徒歩、車椅子、車を使用したり、随時外出を実行し支援している。 |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 事前の計画に対しては計画書を作成、提出し月1回のミーティング時等に発表している。 | | 家族と共に墓参りをしたり、食事等の行事には前もって連絡を受けており、入居者の体調も整えて、その日を迎えられる様に支援している。 |
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 入居者に対して家族様からの接触、電話、手紙等は心の寄りどころとして重要な手段として支援している。電話の取り次ぎ等に拒否はしていません。 | | 電話等はいつでも入居者様と会話できる様に配慮しています。 |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 家族や友人、大切な人が何時も気軽に訪問して下さる様なホーム内の雰囲気作りに心がけている。玄関前の花や、リビングには季節の飾り物等も配置して楽しんで貰える様配慮しています。 | | 居間やリビングで一緒にお茶を飲んで頂いたり、日常の暮らしぶりを見て頂き、又他入居者との交流もあり。その場を楽しんで頂いています。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ミーティングにて勉強会を行い、身体拘束について学び、身体拘束をしないケアを考え行っている | | 今後も身体拘束をしないケアに取り組んでいく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|---|
| 66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 居室は利用者自身（特に夜間の施錠）に任せている。日中は玄関に施錠する事無く、鍵をかけないケアに経営者及び全職員が取り組んでいる。 | | 昼夜居室の施錠は、利用者の心情に配慮し任せているが、特に夜間は利用者に配慮しながらも様子確認の為に入室。他は夜間は、安全と危険防止の為施錠するものの、日中はオープンにし鍵をかけないケアに努めている。 |
| 67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通しての所在確認、様子観察しながら一人ひとりの安全に配慮している。 | | 一人ひとりのプライバシーや状態に配慮し昼夜通しての所在確認（夜間帯は一定時間の巡回）の中での様子観察に努め、安全確認をしている。 |
| 68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 一人ひとりの利用者の状態を十分に把握しながら、危険防止に取り組んでいる。 | | 一律に物品を排除せず、利用者の様子観察確認しながら、危険防止に取り組んでおり、各々適所に保管、管理している。 |
| 69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 転倒、火災、誤薬等の防止の知識を学び、一人ひとりの状態に合った事故防止に取り組んでいる。 1か月1回防火自主点検項目表チェックしている。 | | 各々事故防止対策の話し合い、知識交換を絶えず行い、又火災においては毎年専門者から事故防止策を学び、対策に努めている。 |
| 70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 利用者の急変及び事故発生時に備え、応急手当や初期対応訓練を定期的に施行している。 6/21 職員6名救命士講習会参加 | | 利用所の急変及び、事故発生時の備えには万全を期し、速やかな処置、手当は勿論の事、各々病院、家人、職員等への連絡等敏速に行動できる様に取り組んでいる。 |
| 71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 災害時には昼夜問わず利用者が避難できる様方法を身につけ、地域の協力が得られる様に働きかけている。 | | 各災害への対策を定期的に確認、検討し、話し合いを持ち、利用者が速やかに避難できるよう、対策を立てている。地域の協力を得られる様にもっと働きかけなければならないと思っています。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|--|
| 72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | その利用者のリスクについてケアプランに記入しており、家族にもリスクの対応等について説明、話し合いを行っている。ミーティングで勉強している。 | | これからも利用者が安全に暮らしていけるよう職員、かぞく、利用者と一緒に考えそれに合った対応策について話し、実行していく。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 血圧、体温測定のみに関わらず絶えず日常から体調の変化や異常の発見に努め、受信する等の対応、速やかに情報を共有し対応が遅れる事のないよう努めている。 | | 体調の変化や異常があった場合は、直に報告、速やかに受信、往診の対応に努め急変に速やかに対応していく。 |
| 74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 利用者一人一人の薬状の内容を正確に理解し、服薬の支援及び誤薬防止には充分注意し、症状の変化の確認に努めている。 | | 服薬の支援は勿論のこと、特に誤薬、飲み忘れ等防止には複数のスタッフによる確認による再確認を徹底していく。 |
| 75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 便秘の原因や便秘が及ぼす影響を理解し飲食物の工夫だけでなく利用者にあった下剤、ときには浣腸を使用する事もある。特に朝食後にトイレでさばる習慣を援助し成功している人もある。 | | 一人一人の症状に合わせ、下剤を利用しているが、飲食物によっては野菜を多く摂り水分補給に努めなるべく利用者の排便の力を崩すことなく対応に努めていく。 |
| 76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 各利用者の力に応じ、毎食後口腔内の洗浄の支援に努めている。また、週に1度歯科の往診も実施している。 | | 一人ひとりにあった口腔洗浄を理解し、支援している。また、各々の使用している洗浄器具の清潔保持にも消毒洗浄の対応や口腔洗浄時、シールブラシによる処置の対応もしている。今後もしていく。 |
| 77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの体調、病歴、病状を理解し飲食物の量や栄養バランスに気を付け、一人ひとりの状態等習慣に応じた支援に努めている。 | | 多品種の野菜の摂取、栄養のバランスを考慮したメニュー作りに配慮し、食材の品質にも十分配慮(国内産利用)している。水分および食事チェック表より管理し一人ひとりの状態等の支援に努めている。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|--|--------------------|--|
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等) | 手洗いやうがいやマスクの着用、手すりやドアノブ等の消毒を行っている。 | | これからも感染症に対する予防や対応を行い、利用者が安心して暮らせるように努める。 |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 調理前の手洗いや毎日の台所内の清掃、調理用具の消毒を行っている。食材は国産のものを使用。(以前より) | | 食中毒予防のためこれからも衛生管理に注意、安全な食事を利用者に提供していく。6・17食品衛生についての研修に参加。4名 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 手作りの絵と看板また門より入口ドアまでの季節の花々、一年中欠く事はない。門扉は施錠することなく自由に出入りできる様にしている。 | | 今後は入居者が季節の花を見ながらお茶の時間持てる様、スペースの広い裏庭の充実も図りたい。庭で一度だけ午後のお茶を頂きました。 |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関、廊下一日の大半を過ごすリビング等には季節を感じられる様な展示物、置物を用意。窓からの光が強い折にはロールカーテン等で細かく調節している。 | | 入居者の製作物の展示。夜間廊下の光が入らないようドアのガラス部にきれいな紙でおおう。季節の花々を活ける、ゆず湯、菖蒲湯、等に入って頂く。 |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 気持ち良く食事のとれる気の合った同士の食事テーブル、また、ゆっくり過ごせるソファ、不便を感じたらすぐ配置転換など常に工夫している。居室では自由に過ごして頂いている。 | | 居室での時間には自由に過ごして頂く。声かけの折には必ずノックして入る。3人掛け、2人掛けのソファ設置でより会話しやすくなる。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|---|
| 83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入所して頂く折、ご家族に説明、使い慣れた家具、自作の絵や制作物を飾って頂き、その人らしさが感じられる様空間をつくって頂いている。 | | 生活するに当たり危険と思わせる物やすぐ設置したほうが良い物等、今後家族との関係を密にし入居者が事故なく快適に過ごしてもらうよう努力する。 |
| 84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 各居室解放、リネン交換、冷暖房の換気をこまめに温度調節、十分配慮に取り組んでいます。 | | これからも今までやっていたことを継続して省エネや、そして環境に力を入れています。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 個室と共有空間のバランスがよく出来ている。廊下には手すりがあり、安全面でも工夫されている。広すぎないリビングは家庭的で安全である。キッチン是对面式で入居者が中で作業をして、外にいる他の入居者ともコミュニケーションがとれる。 | | 廊下だけでなくトイレにも手すりがついている。浴室は家庭用の浴室で落ち着いて個浴が出来る。滑りやすい浴室には滑り止めマットが敷かれ、安全に配慮している。 |
| 86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 利用者の認識間違い、判断ミスを最小にするため確認を絶えずする。両手付き椅子利用、に杖入れをつけている。トイレの場所には分かりやすい目印をつけトイレ使用時「ここがお手洗いですよ」と確認を促している。 | | 居室内クーラーの風が枕元にかかる時にはクーラーの前に布を垂らし風を柔らかく遮る工夫をしている。思い出の品を持ち込み、飾り、自宅にいるのと同じように生活し易いよう居室の家具、物品配置を考える。危険なものに対して絶えず検討する姿勢が大切。 |
| 87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている | 玄関前の季節の花々の植え替えやその後の花殻摘み、又、水やり等行っている。又、日当たりの良い裏庭では収穫の楽しみが持てる野菜を栽培して楽しんでいる。その空間でのお茶会や日光浴を行っている。 | | 表玄関の方に季節を感じる事の出来る木々や寄せ植えを入居者と共に行う。 |

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

| . サービスの成果に関する項目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと) |
|-----------------|--|---|
| 項 目 | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

月に1回の割合で2階3階に分かれ、それぞれの入居者様と家族様も交えて田中ホーム長の自宅マンションを開放、入浴、その月の誕生日に当たる入居者様の誕生日のお祝いをしています。施設の入浴だけでなく家庭での入浴の雰囲気も体験してもらい、又昼食も外から取り寄せたお寿司や職員の手作りケーキ、神戸まで買いに行った豚まん等入居者様に喜んで頂き、毎日の生活にメリハリの持てるよう工夫をしています。同時に家族様にもホームでの生活の一端でも垣間見て頂きたく当日はビール等も用意し、他入居者様との交流も楽しんで頂いています。また、疲れが見えたり、眠気のある入居者様にはベッドや布団を用意し随時休んでもらいます。この行事をスムーズに事故なく行う為に事前の計画作成また、物品の搬送等十分な話し合いを持ち、実行しています。今後も回を重ねる事により、より充実した田中温泉としてホーム長を先頭にスタッフ一同取り組んでいきたいと思ひます。